

今号のわだい

- 【1面】生活・医療・平和を守る春闘へ 埼玉の2病院が譲渡!?
- 【2面】春闘討論集会の発言から
- 【3面】春闘アンケート・青年委員会

全厚労ニュース

全国労働組合連合会
厚生連
〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5
TEL 03-3874-3591
FAX 03-3874-3593
発行日 毎月20日 定価 30円
http://www.zenkouro.org/



堤未果さんの「貧困大国アメリカ」を紹介しながら情勢を語る茂原委員長

生活と医療と平和 守る16春闘へ

軍事優先国家に

方針提案では、昨年からの流れを振り返り、情勢が語られました。

9月定期大会の翌週から参議院安保特別委での「強行採決」の状況は、日本の憲政史上初の異常なことでした。国権の最高機関である国会で、委員会の議事録が「改ざん」され、法律が通ってしまうことが民主主義国家で許されていいのかわかりません。多数を占めれば何でもできるの

全厚労は、1月15〜16日、ホテル平安の森・京都において、「16春闘討論集会(拡大中央委員会)」を開催し、18県109名が参加しました。秋闘の教訓と16春闘の重点や統一闘争について、議論を行いました。

なら、形式的な議論があつても「独裁国家」と同じです。

安倍首相は年頭所感でも「憲法改正」、特に「非常事態条項」の導入に熱意を燃やしています。大規模災害時の権限集中や対応が必要だと言われていますが、東日本大震災を経験したいま、「想定外」で済ませるのではなく、大災害を想定した法律の議論をやらばいいだけの話です。大災害にかこつけて、憲法の機能停止を「ナチスがやったように(麻生副総理)」目論んでいるのです。

実際に「医療・社会保障のため」と消費税増税がなされたにも関わらず、診療報酬切り下げなど、医療・社会保障の切り捨ては進み、一方では、防衛費(軍事費)は、年間5兆円を超えて増大し、米軍への「思いやり予算」も大幅増額、軍需産業の成長戦略化など、「戦争する国」づくりが進んでいます。

こういう危険な状況の中で、全厚労が掲げてきた「生活と医療と平和を守る」スローガンに沿って、16春闘の3つの柱に

生活を守る

据えてたたかうことが提起されました。

春闘アンケートの結果(3面)にも表れているように「生活を守る」ためには、賃金の大幅引き上げが必要です。人手不足の中で過重労働が一層強まっています。本来例外的な時間外労働をなくして、「定時帰り」がで

きる職場づくりをしていくことが必要です。「不払い残業」はアンケートでも平均月約4時間存在します。収入に換算すれば時給1200〜2000円として割増含めれば6千円〜1万円近くになります。1年間では「格安ハワイツアー」くらいに行ける程の金額です。「残業代不払い」などの労働基準法違反は、労働者の罪ではなく、「管理者」や「経営者」の犯罪であり、罰金30万円以下、懲役6ヶ月以下の刑が処されるもの。私たちの病院から「犯罪者を出さな

医療を守る

医療・社会保障の切り捨てが強まっています。

医療・社会保障制度は、その仕事に携わる私たち医療労働者のためではなく、私たちも含めた国民全体のためにあります。国民各層と「連帯」して、医療・社会保障制度を守り、拡充することが私たちの生活を豊かにすることにも繋がります。

平和を守る

「軍事に頼らない」平和国家としての道が、安全保障でも財政面でも日本を豊かにします。米軍に従って中東で自衛隊を展開させることで、「テロ組織」からの攻撃対象になっていきます。軍事費でなく医療や介護分野へ財政を回せば、それは消費になって経済を循環し、GDPを押し上げることが厚労省の試算でも明らかにされています。「平和」「医療」「生活」は繋が

埼玉で熊谷・久喜2病院の譲渡

地域医療・雇用に不安

1月14日、埼玉新聞の1面で「熊谷総合病院 久喜総合病院 経営改善で4月売却 J.A. 県外の医療法人へ」という見出しで、2病院を譲渡するという記事が報道されました。1月15〜16日に開催した春闘討論集会では、参加者全員に衝撃が走りました。

突然の譲渡話

1月13日に病院職員には、「病院の将来のことが報告することがある」と14日の職員説明会開催が伝えられました。当日の職員説明会では30分程度、文書もなく口頭で病

院が譲渡されることと、雇用も継続されるから安心して欲しい等のが伝えられるだけで、出席者の質問にもまともに答えることなく、欠席者へのフォローも行われませんでした。

1月15日、J.A.埼玉県厚生連は、記者会見を行い、熊谷総合病院を北海道・北斗グループが新たに県内に開設する医療法人に、また久喜総合病院を佐賀に本部を持つカマチ・グループの中で、関東に病院やリハ施設を展開している「巨樹の会」に経営譲渡することを発表しました。

すでに基本契約を12月末に結び、譲渡は4月までに行うとされていますが、合意に至れば、3月25日に厚生連総会を開き、3月末にも正式契約するとされています。

こんな譲渡まで3ヶ月もないという突然の発表はもちろん、昨年3月から新たな5カ年計画を始

〈2面へ続く〉

働き続けられる職場づくりへ

春闘討論集会の討論から

一時金確保・手当改善

年末一時金では、14年の年末一時金でいくつもの県で大幅カットを余儀なくされた経験やたまたかの教訓も踏まえて、各県でも格差支給や引き下げを許さない構えを作ってきました。回答の出遅れはありましたが、最終的な結果は多くのところ

で昨年水準確保ないし上回る回答を得ています。福島では実績が計画よりマイナスの中でも「生活給の引き下げはダメだ」とビラの配布やストも辞さないたたかいで、昨年実績の回答を出せました。

14年では事業所間格差を改めさせた静岡では、回答月数は引き上げたものの事業所間格差が出てしまいました。組合ではアンケートを取って意見を会へ上げていくとしています。

富山では一時金2・0ヶ月を回復し、合わせて薬剤師調整手当を初任給で3・9万円増額させ、呼び出し手当も回数に応じて支給するようにさせました。

広島では計画プラス5千万円の状況で昨年以下はあり得ないと、40名参加の団体交渉で粘り強いたたかい、2ヶ月プラス1万円の回答

との言及もありました。

看護職場の改善・人員確保

とともに57歳以上の減額率を緩和させました。また合わせて16年4月から準夜200円、深夜300円の夜勤手当引き上げの取り組みになりました。

徳島では、14年度の年度末0・1ヶ月マイナス分を取り返すことが課題として続く中で、15年末一時金で0・1ヶ月マイナス回答があり、「ここで生活給引き下げを認めたら後がない」と、年越し覚悟で仮払い闘争の準備を進める中で、2次回答で昨年同率へ引き上げさせた経験が報告されました。

また「特定行為」問題は、全厚労看護委員会でも一つの行為を議論・検討しています。現場の実態をつかむことも必要だとアンケートも検討しています。

「働くルール」を守る

労働基準法など「働くルール」を守る取り組みでは、福島県労働局へ要請し、講師を派遣してもらい、管理職向けの研修会の開催を検討させることになりました。

長野からは「産前休暇8週」に向けて、可能な職場から7週取得の取り組みを進めていくことが発言されました。

リフレッシュ休暇や有休消化がなかなか進まない実態も出されました。また上司や医師などからのハラスメントが問題になっている

がありました。

「不払い残業」など労働時間管理の課題では、

福島から「2月にサービス残業調査を行い、時間外の実態を把握する。連日、宣伝行動を配置して盛り上げたい」、秋田から「個々の時間外労働の調査をスマホなどで入力し、デジタル化できないかと考えている。全厚労全体の取り組みにできないか」との提案があり、全厚労としても検討するにしました。

地域医療を守る課題では、愛知から「労使で共同してやることに取り組む」、新潟では栃尾で「住民の会」とも共同した運動で、診療所として残したことが報告され、引き続き医療機能充実と中条病院の統廃合問題に取り組んでいきたいとの決意が出されました。

埼玉からは突然、知らされた「厚生連2病院の民間譲渡」について報告。「地域医療と雇用・労働条件を守って頑張る。全国からの支援をお願いしたい」と訴えられました。

16春闘に向けて

春闘に向けては、茨城が「春闘アンケートでは賃金要求が強い。全厚労水準との格差もあり、4万円要求を掲げてたたかう」。富山からは「青年行動隊を先頭に、春闘を頑張りたい」などと各県からも決意表明

「1面から続く」

めたばかりの状況で、職員や労働組合を無視して、

水面下で事をすすめ、一方的に計画を押しつけることは、言語道断です。また農家組合員や地域住民の医療を担う厚生連・公的病院としての責任放棄であり、労働組合との協議や厚生連総会を経ずして、譲渡を進めること事態、理事会の背信行為と言えます。

また久喜では、譲渡先の「巨樹の会」での職種の別モデル賃金表が配られ、「個人面談」を行うというところで、空の履歴書と人事考課表が手渡されています。モデル賃金表は、看護師でも20年勤続しても昇給が5万数千円ほどしかないもの。また労働組合の頭越しに

個々の組合員に働きかけすることは、いわゆるオバーヘッド行為として、労働組合法7条違反（支配介入及び不誠実交渉）にあたります。労組は、21日に「個別面談の中止」と団交開催の申し入れを行いました。

労組に団結して

埼玉は1月17日、支部合同執行委員会を県医労連と全厚労の参加で開催、18・19日と熊谷・久喜の支部集会を開催しながら、職場の意見や疑問の声を集約し、労働組合としての対応について話をしてきました。

多くの組合員からは、「何も問題が明らかにされないまま譲渡されようとしているのは納得がいかない」「協議があつちへ行くしかない」というのは、人として扱われていないと思ってしまう」「厚生連病院だから就職したのに。本当に地域医療が守られるのか疑問」「文書も配布されない説明会で何を納得しろという

のか！」などの不安や怒りの声が出されました。

また久喜では、譲渡先の「巨樹の会」での職種の別モデル賃金表が配られ、「個人面談」を行う

というところで、空の履歴書と人事考課表が手渡されています。モデル賃金表は、看護師でも20年勤続しても昇給が5万数千円ほどしかないもの。また労働組合の頭越しに

個々の組合員に働きかけすることは、いわゆるオバーヘッド行為として、労働組合法7条違反（支配介入及び不誠実交渉）にあたります。労組は、21日に「個別面談の中止」と団交開催の申し入れを行いました。

埼玉県へ申し入れ

また1月22日には、埼玉県労連、全厚労、県医労連、県労連で埼玉県への申し入れを行いました。「県

厚労、全厚労、県医労連、県労連で埼玉県への申し入れを行いました。「県

厚労、全厚労、県医労連、県労連で埼玉県への申し入れを行いました。「県

病院譲渡の話、ちょっと待った!!

各県の医療機関としての社会的使命を投げ出していないか？

2015年1月に開始した久喜総合病院2、3階建て新築工事の進捗状況を、労働組合より関係者へ伝えていく必要がある。関係者へ伝えていく必要がある。関係者へ伝えていく必要がある。

※労働組合との協議、厚生連総会を経ずして譲渡を進めることは、言語道断です。

「譲渡」「厚生連解散」はあり得ない!!

埼玉県労連の報告は、2015年2月25日、「病院の譲渡」という重大事項を、労働組合に押しつけるような姿勢を許すわけにはいきません。労働組合は、関係者へ伝えていく必要がある。関係者へ伝えていく必要がある。

管理職、非正規職員であっても個別面談はさせません!

譲渡先による個別面談は、労働組合法違反!!

中止・団交開催の申し入れを行いました

1月27日17時半・団体交渉! 28日・支部報告会

組合員に申し入れし、組合員に働きかけを促すことは、「オバーヘッド行為」として労働組合法7条「支配介入」および「不誠実交渉」に該当します。

埼玉県が代表して厚生連と交渉し、不明な点を明らかにします。

すでに終わりに「個人面談」が済んでいる職場もあります。しかし譲渡先として正式に交渉するので、皆さんは「同意書」を押し付けないで2つを併用して下さい(譲渡先から書かれたことはメモしておきましょう)。

1月27日の団体交渉の模様は、28日、熊谷・久喜両支部にて、支部報告会を行います。ご参加下さい。

～地域医療を守るために～

2016.1.20 **埼玉労ニュース**

病院譲渡、ちょっと待った!

対策会議立ち上げ

1月23日に、埼玉県全厚労、県医労連、県労連を構成団体とした、「埼玉厚労対策会議」を正式に立ち上げ、対応していくことになりました。

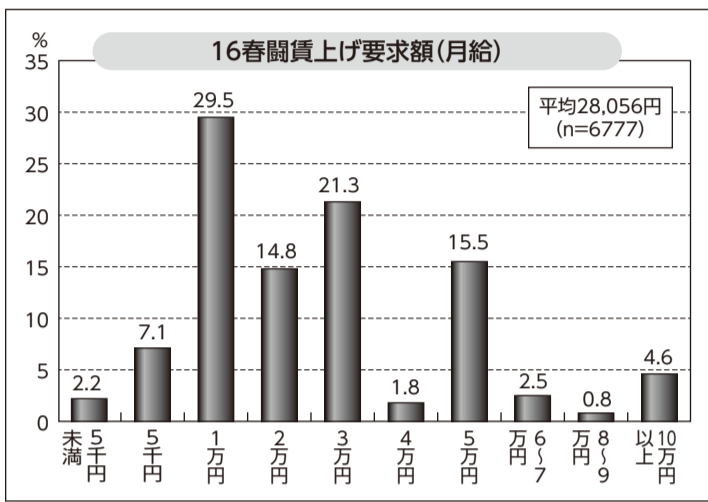
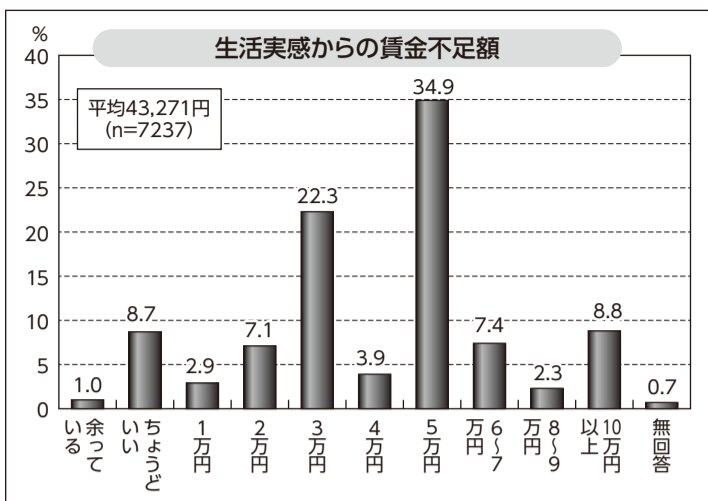
1月25日早朝には、両支部でニュース(写真)を配布し、「個人面談」や「個人での合意」に応じないことや支部報告会への参加を呼びかけました。

上部団体も含めた団体交渉が1月27日に行われることになっており、一連の経過についての厚生連の経営責任追及と、公的病院としての存続を求めつつ、地域医療の維持と雇用と賃金・労働条件の確保するために、できる限りのことをしていきます。

非常に厳しい状況である



病院譲渡問題で発言する埼玉・鈴木さん



生活実感からの賃金不足は4万円以上

2016年春闘アンケートより

全厚労は日本医労連実施の16春闘アンケートに取り組み、1月13日現在で、8県から7237人分の結果を集約しました。中間報告ですが特徴を報告します。

基礎項目①

回答者の属性について、性別は全体の21・1%が男性で、78・7%が女性です。年代では、20代が30代で約3割、40代が4分の1、50代以上が6分の1と、例年と変わらない割合です。雇用形態では、正職員が90・9%、パート・臨時・嘱託職員が6・1%です。労働組合に加入している人が84・6%で、加入していない11・3%、組合がない、分からないとい

う人も合わせて3・8%ありました。茨城では非組合員にも積極的にアンケート回収に取り組み、約4割の未加入者の声を集めています。

6割が生活苦訴え

生活実感を問うた項目では、「かなり苦しい」15・9%、「やや苦しい」43・5%で、約6割の人が生活苦を感じています。「ゆとりがある」「ややゆとりがある」としたのは、わずか3%です。

6割以上が増税反対

このような生活苦の中で、17年4月に必ず実施するとされる消費税10%への増税については、「賛成」5・1%、「反対」63・2%と6割以上の人が増税反対の意見です。「どちらともいえない」が3割ちよつといますが、今の税金の使われ方を知れば、もっと反対の声は増えるのではないのでしょうか。

9割強が将来不安

家計の状況を聞いてみると、「収入源で、支出

賃金不足4万円以上

賃金要求も3万円近い

の切り詰めや貯金の取り崩し」をしている人が12・5%、「収入源で支出節約や貯蓄分を減らす」という人が24・2%で、35%以上が収入源で対策を講じています。また「収入源はないが、今後が不安」という人が56・7%で、合わせると93・4%の人が現在及び将来の生活不安を感じています。「心配していない」という人は6・2%でした。

「生活実感から月いくら不足しているか」という質問では、「5万円」34・9%、「3万円」22・3%とこの2つの選択肢が2桁の回答で、全体の加重平均では、「43,271円」の不足となつています。県別では、平均で3・8〜5万円弱が不足していると答えています。

実際にこの春闘で「(月給者で)どれだけの賃金引き上げを要求したいか」との質問では、「1万円」29・5%、「3万円」21・3%、「5万円」15・5%と続き、加重平均では、「28,056円」、各県でも2・5〜3・2万円の要求額になっていきます。消費税増税などによる

影響で、年収500万世帯(片働き・4人世帯)モデルで、月額2万6千円の実質賃金の低下(大和総研調べ)になっていくことから、3万円くらいは賃上げがないと生活水準の維持ができないということですが、要求は「取れるか取れないか」ではなく、「必要かどうか」です。みんなで思いを出し合つて要求を確立していきましょう。

K'sを埼玉で10月開催へ

青年委員会で成功へ決意固める

全厚労青年委員会は1月23日、第2回委員会を本部会議室で開き、この間の活動交流と今後の取

り組みについて議論しました。冒頭、埼玉県厚生連の病院譲渡の話について、新聞記事や経過資料を確認し、埼玉労でケーズの受け入れが出来なくなつたことから、どうしていくかを話し合いました。選択肢は3つ。①中止して医労連の全国ア

クトの翌年(18年)に行う、②開催地を別な場所を検討する、③青年委員会で企画を引き継ぎ、全体で成功させる。

「もう今回は飛ばしても仕方がないのではないか」「新たな開



第2回青年委員会に参加したメンバー。K's成功へ頑張ります!

「もう今回は飛ばしても仕方がないのではないか」「新たな開

議論されてきたことから、

「平和学習はかせない」として、学ぶ場を作ることになりました。また楽しく学ぶ企画として、「医労連青年学習交流集会」で好評だった「医労連版・脱出ゲーム」の短時間版を、発案者の三厚労・斎藤祐樹くんが、作ってくれてきていて、それを元に青年委員全員で企画運営していくという流れになりました。

さらに他組織の青年部がやっている企画なども学んで、「参加者みんなで一つのことをやる」ことや普段経験できない体験ができるコースも検討していきます。

具体的な企画が決まったらお知らせしていきますので、全国の青年のみなさんの参加をお待ちしています。

(青年委員会 発)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第105回は新潟と愛知にお願いしました。



新潟 大平雅浩さん

新潟からは今年度副執行委員長として、執行部に加わりました大平雅浩さんをご紹介します。ご存知の方もおられるかもしれませんが、大平さんは2007年から09年まで新潟の専従書記次長、全厚労書記次長をしていました。松尾書記長のちよっぴり若い姿を知る1人でもあります。専従経験からの知識と若さという力を発揮し、これからの組合活動を支えてくれると確信しています。そんな大平さんですが家に帰れば2人の娘さんの良きパパで趣味もロードバイク、スキー、ライブ参戦などたくさんありますが、今は単身赴任で家族と離れて生活をしているため寂しさからゲームのモンハン（モンスターハンター）に熱中しているようです。

これまでの経験と知識と若さをいかし、いつまでも働き続けられる職場を目指し、組合活動をさらに前進させてくれるものと確信をしています。全厚労のみなさんよろしくお祈りします。

愛厚労渥美支部書記長の沖 公平です。言語聴覚士として働いて8年目です。

今年度から本格的に支部執行部で活動をさせていただいています。想像以上の会議や出張の多さに困惑していましたが徐々に慣れつつあります。これも執行部の先輩方はもちろん、職場の仲間を支えていただいているおかげです。

主な組合活動は職場訪問や意見集約を行うことで、今まで知らなかった他職種の現状や問題点を知る事ができ、労働組合として役に立っている事はないかを皆で考えています。

郡部の中小規模の病院として存続していくためには、職員一人ひとりにとって働きやすく、長く勤めていける職場にしていく事が大前提だと思います。闘う事も必要なときがあるかもしれませんが、基本的には今後も労使が協力し合って、よりよい職場環境を実現できるよう自分も微力を尽くしていきたいと思っています。



愛知 沖 公平さん

当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(1月号の答え…シ「トオサメ」)

■ヨコのカギ

- 1 明日は月曜日です
- 4 2月が1日多い……年
- 6 熱帯……。深海……。
- 7 品物。救援……。を送る
- 9 英語ではエゴイズム
- 11 ビールと……。豆
- 12 コンビニの渋滞発生場所
- 13 道案内ではこれが必要
- 15 ブルー……。には折り目は不要
- 17 熱帯の川に住むは虫類
- 18 ……のうわさも75日
- 19 ……ヒッターとは高い打率を維持する打者
- 22 衣服を入れる家具
- 23 ライオンは……。食動物
- 24 トラの威を借る……
- 25 反対語は西洋

■タテのカギ

- 22 21 20 16 15 14 11 10 8 5 4 3 2 1
- 四次元空間とも言う手品の……を明かす
- チョコッキとも言います
- エンブレムは特定の人や物を表す……です
- 地震で地面が裂ける
- 地震が振動する音
- 世界中で異常気象を引き起こす……現象
- 中原中也や北原白秋
- ホースの……から水が漏れる
- 今……中の新人歌手
- 生まれて初めての入浴
- 十二支の2番目
- 焦らず、日々を大切に過ごしていれば、きっと何かが達成されていると思えますよ。

ザククロスワード

出題●モロゾミ勝

答	A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---	---

1	2		3	4	5
6		7	8		
9		10		11	
	12		13	14	
15			16	17	
18		19	20		21
	22			23	
24			25		

【問題】A～Fを並べてできる言葉は？

聞かせて・教えて!のコーナー

「聞かせて・教えて!」のコーナーが始まってからもうすぐ1年になります。まだまだ携帯・スマホからの投稿は少ないのですが、3月号までの投稿数による累計ポイントで景品進呈を予定していますので、これから是非ご活用下さい。

今回の「聞かせて・教えて!」は、「2016年 私の抱負・やりたいこと・目標」です。下記のQRコードを読み取って、投稿サイトにアクセスするか、以下のメールアドレスに空メールを送って下さい。

kikasete@zenkouro.org

質問フォームに、必要事項を記入して送信して下さい。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。投稿数に応じてポイントが貯まります。

なお年齢・職種・連絡先などは、具体的に質問に関連して記載をお願いした場合のみ必須となります。

●今回の「聞かせて・教えて!」●

質問1

- 1月号で一番興味・関心があった記事は？
- A=春闘討論集会 B=埼玉2病院譲渡問題
- C=春闘アンケート結果 D=青年委員会報告



意見・要望

「2016年 私の抱負・やりたいこと・目標」

投稿締切 投稿・パズルとも2月末まで

読者の声

今年1年お疲れ様でした。今年全厚労ニュースを読むことが日課になっていました。日々たくさんのお知らせがありますが、これからは仕事頑張ります☆ (徳島)

あけましておめでとうございませう。今年も働く皆さんと共に頑張る全厚労ニュースを作っていきたく思います。よろしくおねがい致します☆ (KT)

都会と田舎の違いは、物の密度だけ。田舎は、人が薄め・建物が薄め・大気汚染がうすめ。非日常を体験するには、上空、海中などがおすすめです。 (YN)

このちまもる国民集いに参加しました。そこ新しい友人もできました。パレードの訴えは大事だと思います。 (秋田)

医療研究会での記念講演の要旨を読んで、やはり政治に関心がなると医療問題も解決できないと感じました。医療に関わる他分野にも広く目を向けていきたいと思